

蓼科山山行記録

記 鳥切昇治

1. 期 日:2013年2月21日(木)

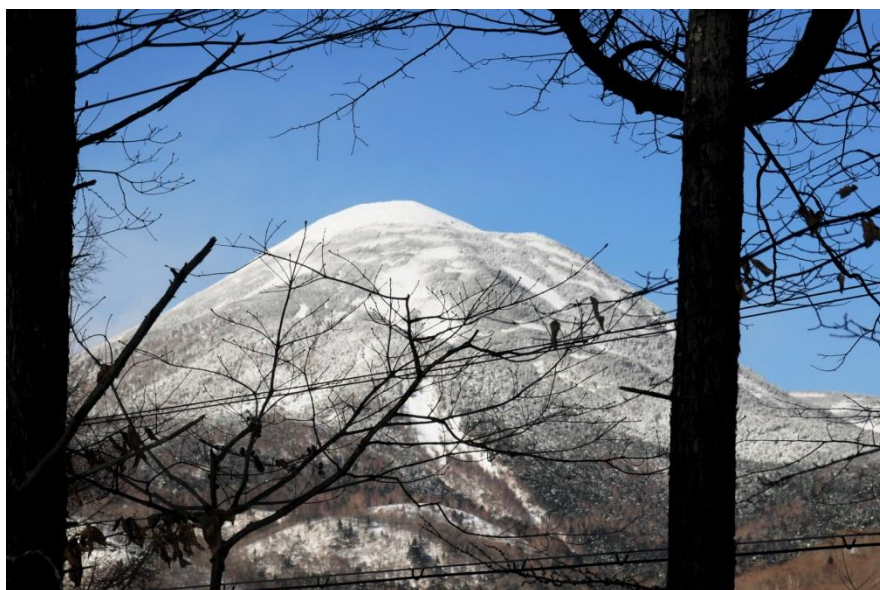
2. メンバー:鳥切昇治

松井 清(会友)

3. コース:女の神登山口～蓼科山
(2530m)(ピストン)

4. 山行記録

早朝、松井車で横浜を発ち、中央道の諏訪ICで下り、女の神登山口へ向う。今冬の八ヶ岳は積雪が多いと聞いていたが道路の除雪がされていて、順調に女の神茶屋に着いた。来る途中、八ヶ岳は雲の中で見えなかった。女の神登山口の駐車場は10台程が



蓼科温泉付近から蓼科山

駐車出来るスペースが除雪されていて4～5台が既に駐車していた。例年の積雪量がどれ程か分からないがこの辺りで1m位は積っている様だ。数日来の寒波が続いて



女の神茶屋



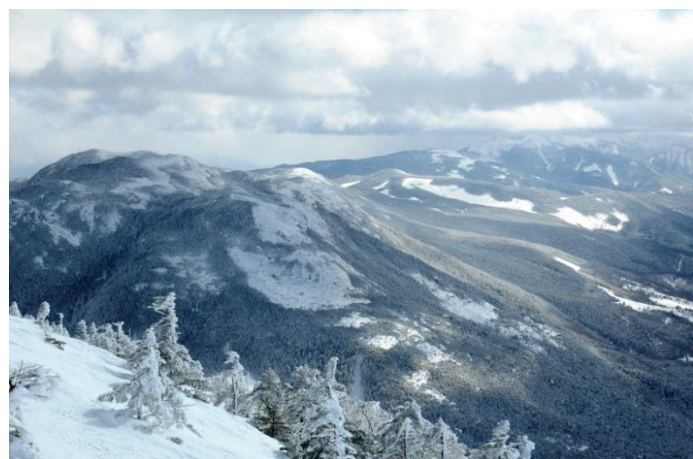
女の神登山口の駐車場

いるためか寒い。

支度をして出発する。スノーシューを持って出たがトレースが付いていて使うことはなかった。樹林帯の中を登り急登もあったが、標高2110mの標識の所までアイゼンを着けずに1ピッチでゆっくり登る。陽は射しているが指



標高2110m地点の標識



北横岳

先が冷たくなる程の寒さ。

下山して来る単独行の登山者3名に会う。今日の登山者は先行して登っている夫婦連れと我々を合せ5パーティーだった。視界は良いが南八ヶ岳方面は相変わらず雲の中で見えない。更に樹林帯の中を登る。

樹林帯を抜ける辺りの急坂下でアイゼンを着ける。この登山道には3ヶ所程急な登りがあるが、何れも一直線に



急な一直線の登りを振り返る



森林限界を抜け最後の登り

登っていて登り難い。急坂を登り森林限界を抜けると急に風が強くなる。

右の方へ捲き気味に登って行くと山頂の山小屋が見え、なだらかな山頂に立つ。風が強く、記念写真を撮って早々に山頂を後にする。北横岳は見えるが相変わらず他の山々は雲がかかり見えない。

樹林帯まで下って食事にする。風が無いと日差しが暖かく感じる。

登って来た道を辿り登山口に戻った。



蓼科山頂の松井さん



蓼科山頂の私

帰途、蓼科温泉にあると言う共同浴場を探す。場所が分り難く蓼科湖畔の郵便局の傍に見付け、ここで汗を流す。松ちゃんが秘湯温泉に詳しく、ここは源泉かけ流しだから入りたいと執念で探し出す。共同浴場だから設備は良くないが、たしかに源泉かけ流しの様で暖まる温泉だった。松ちゃんが脱衣場のコインロッカーを使う際に100円玉を落とし、ロッカーの下に入ってしまった。散々苦勞の末、ロッカーを動かして探し出した。帰路は順調に走り帰宅した。久し振りに冬山を味わう事が出来た。

〈コースタイム〉

横浜 4:25—6:54 相模湖IC—諏訪IC 8:03—8:54 女の神登山口 9:27—12:45 蓼科山頂 12:57—14:37 女の神登山口 14:58—15:25 蓼科温泉 16:03—16:35 諏訪IC—相模湖IC 19:00—20:45 横浜(自宅)

以上